

## 振興に向けた課題

## 課題略称

## 対応案の検討に向けて（資料より抜粋）

## 課題 1 博士課程

- 他分野でも指摘されている課題と言える。
- 現実的にセキュリティ分野を中心にできることはないか。

## 課題 2 プロシーディング

- まずは WG や研究コミュニティで前向きな議論をしてもらうことが重要ではないか。
- また、本年春より、日本の研究コミュニティからトップカンファレンスに採録される論文数を増やすことを目的として、有志が投稿前の論文に対して助言する動きがあり、こういったコミュニティの自主的な取組を後押しすることも重要。
- 一定の議論が出てくれば、それにも応じて、以下などが考えられるのではないか。
  - ・その重要性・必要性につき国の政策メッセージを出す。（大学や研究コミュニティ内での評価に何らかの好影響を与えられる可能性。）
  - ・国のファンディングプログラムの評価において、（IT・セキュリティ分野については）カンファレンス論文を実績として記述できるようにする。

## 課題 3 アカデミアの役割

- WG や研究コミュニティで議論が深められることは、政策への示唆としても重要と考えられる。

## 課題 4 学問体系化

- WG や研究コミュニティで議論が深められることは、政策への示唆としても重要と考えられる。
- なお、分野・領域にかかる議論とも関連。

## 課題 5 セキュリティの看板

- SCIS や CSS のように、セキュリティに関する学会・シンポジウムの参加者は若年層を含め増加しており、IT の進展に応じて、さらに研究ニーズが増えるポテンシャルあり。また、政策的要請や、AI 戦略に基づく人材育成推進との機会も存在。
- 様々な研究者が大学内あるいはアカデミア内で具体的により大きな地歩を得るには何が重要か。欧米とは何が違うか。

## 課題 6 産学官連携

- 分野を問わず、国等の促進政策や施策が打たれており、事例も出てきている。
- セキュリティ分野での政策課題の検討とともに、具体事例が創出・把握され、共有されることが重要ではないか。

## 課題 7 ベンチャー

- 分野を問わず、国等の促進政策や施策が打たれており、事例も出てきている。
- セキュリティ分野での政策課題の検討とともに、具体事例が創出・把握され、共有されることが重要ではないか。

## 課題 8 データ共有

- 課題 6 や 7 と関連する内容であり、産学連携やベンチャーにかかる議論の中で具体議論されることも重要ではないか。

## 課題 9 ファンダ活用

- 様々なファンディングがバランスよく活用され、研究コミュニティが発展することは重要。
- まずは WG や研究コミュニティで前向きな議論をしてもらうことが重要ではないか。
- 他分野では、コミュニティが適切な発信やコミュニケーション等を行うことで、継続的にファンディングが設定・獲得されるような分野が見られる。

## 課題 10 大学巻き込み拠点

- 様々なファンディングがバランスよく活用され、研究コミュニティが発展することは重要。また、大学という場を活用した研究開発の遂行は重要。
- まずは WG や研究コミュニティで前向きな議論をしてもらうことが重要ではないか。

## 課題 11 攻撃研究

- 昨年、コンピュータセキュリティ研究会が「サイバーセキュリティ研究における倫理的配慮のためのチェックリスト」を作成して、攻撃研究などに倫理的に配慮させる啓発活動を行う動きあり。